

# 昆虫 part-2

Insect



エサキアメンボ

**ワンドを住み家に  
エサキアメンボ**  
淀川のワンドのヨシやガマの陰になつた水面で、銀白色のきれいな姿を見せながらたくさん泳いでいます。明るいとこが苦手で、うす暗い水面でひっそりとくらすしています。全国的にも生息している場所が限られている珍しいアメンボとして知られています。



ヒヌマイトトンボ

**生き残っていた希少種  
ヒヌマイトトンボ**

日本にだけ生息する小さなかわい  
いイトトンボ。海水がまじるほど河  
口に近いヨシ原などの湿地に生息し  
大阪では昭和48年に淀川の岸辺で  
発見されました。しかし、55年から  
5年間の調査では見つからず、一時  
は絶滅したと思われていました。再  
び発見されたのは63年、やはり淀川  
のヨシ原でした。環境の変化に影響  
を受けて、いなくなつてしまつたと  
思われていた生き物が帰つてきた  
のは本当にうれしいことですね。

写真提供

- ヒヌマイトトンボ研究会 清水典之氏
- カワラバッタ 大阪青山短期大学 宮武頼夫氏
- ツマガロヒョウモン 滋賀むしの会 高石清治氏
- エサキアメンボ キュウシュウツチハンミョウ 中谷憲一氏

河川敷で冬に活動

**キュウシュウ  
ツチハンミョウ**



キュウシュウツチハンミョウ

ほとんどの虫が冬こもりする寒い時期に活動する珍しい習性を持つています。幼虫時代はハナバチの巣で寄生生活をし、成虫が河川敷に現われるのは11月初旬頃から。セイヨウカラシナやハコベなどのやわらかい葉を食べます。冬に出てくるのは、天敵の鳥やトカゲがいちばん少ない時期だからと考えられています。



淀川のワンド